



伊勢湾台風で損壊した常盤館

伊勢湾台風から60年



防災課 ☎ 66-1208

今から60年前、昭和34年9月26日に、蒲郡市はかつてない猛烈な台風に襲われました。それが伊勢湾台風です。

暴風雨圏が半径300キロというこの超大型台風は、潮岬に上陸し、鈴鹿峠、濃尾平野、岐阜県北部、新潟県西部の直江津付近というコースを、時速70キロの猛スピードで横断しました。蒲郡市はこの台風の進路の東側に位置していました。台風の影響は進行方向の東側が最も影響を受けやすいため、最悪のコースであったといえます。

伊勢湾台風が残した被害状況は甚大なものとなり、多くの被災者を生みました。また、当時体験した人々には、生涯忘れることができない恐怖を与えました。

伊勢湾台風被害記録

	死者	行方不明	全壊	流失	半壊	床上浸水	床下浸水
蒲郡市	5人	0人	295戸	56戸	819戸	1,814戸	659戸
愛知県	3,168人	92人	23,334戸	3,194戸	126,090戸	53,560戸	62,831戸



三谷漁港に乗り上げた県警備船



伊勢湾台風で崩れた竹島橋